

岡崎市老人福祉計画（平成21年度～平成23年度）変更内容一覧

（平成22年1月28日）

事業名 （掲載ページ）	変更前	変更後
福祉電話相談事業 （P62）	これまでの実績では、高齢者からの相談件数はほぼ横ばいで推移していますが、今後は高齢者の人口増加が予想されるため、更なる相談体制の確立と相談内容の充実を図ります。	現在では、地域包括支援センターの整備、配食サービスの充実化、学区福祉委員会や老人クラブによる見守り活動など、別に本事業を実施する環境が整えられているため、市が行う事業としては平成21年度末に廃止し、より地域に密着した形での相談事業の充実を図ります。
シルバー特別支援 隊支援事業	（P62「（1）ひとり暮らし高齢者等に対する日常生活の自立支援」に新規追加）	電球の取替え、庭の草取り、墓の掃除など、介護保険サービスでは対応できない軽易だが無視できない問題は多くあります。そうした問題を解決するために「シルバー特別支援隊」を立ち上げ、高齢者の日常生活における不安の軽減を図ります。 なお、実施主体はシルバー人材センターとします。
在宅福祉サービス 利用調整事業（P67）	在宅福祉サービスの利用を必要とする高齢者に対し、福祉、保健、医療等の専門的知識を有する者が利用調整を行い、利用者への適切なサービス提供を支援します。	地域包括支援センターに委託して、在宅での高齢者介護支援を提供する際に必要な申請代行や世帯調査を行ってきました。平成21年4月からは、より公平な判定となるように要介護度による判定基準に改めており、現地調査自体が不要になったため事業は廃止しますが、引き続き利用者への適切なサービス提供となるよう努めます。

事業名 (掲載ページ)	変更前	変更後
家族介護用品給付事業 (P70)		(市単独事業として実施してきたものを、平成 22 年度に介護保険事業の地域支援事業(任意事業)へ移行する。)
寿バス優待券等給付事業 (P80)	今後も高齢者数は増加するものと見込まれることから、事業を継続して実施し、高齢者の外出支援を図るとともに、バス路線の縮小に伴い内容等の見直しについても適宜検討を図っていきます。	施策開始から 30 年が経過しました。社会情勢も大きく変貌し、外出のきっかけ作りや社会参加につなげるという本来の目的とは離れた施策となっています。今後の高齢者の外出支援施策としては、市全体の地域公共交通整備と一体的に対応していくことが大切であり、平成 21 年度末に本事業は廃止することとします。
寿手帳配付事業 (P80)	今後も事業を継続し、対象者に配布を行っていくとともに、カード化への移行について適宜検討を図っていきます。	現在の岡崎市の施策では、防災手帳や健康手帳など機能が重複するものや、高齢者向けサービスをまとめた冊子もあります。これらを整理する必要があるとともに、市内各所に整備された地域包括支援センターで様々な相談に対応することもできるため、平成 21 年度末に本事業は廃止することとします。
高年者センター管理運営事業(高年者センター岡崎内歯科診療所)	(P85「高齢者福祉施設管理運営事業」に追記)	高年者センター岡崎内に平成元年より設置している歯科診療所については、現在の利用状況が、1日平均 1.5 人と非常に少なく、市が歯科診療所を維持する合理性が見出せないため、平成 21 年度末に廃止することとします。